

令和7年度病害虫発生予察注意報第1号

令和7年4月22日
三重県病害虫防除所

ムギ類赤かび病が多発するリスクが高まっています。
必ず防除を2回以上行ってください。

1 対象作物:ムギ類

2 対象病害虫名:ムギ類赤かび病

3 発生地域:県内全域

4 発生時期:4月中旬以降

5 予想発生量:やや多

6 注意報発令の根拠

- (1)ムギ類は開花期以降、高温かつ降雨条件下でムギ類赤かび病菌に感染しやすくなります。
- (2)4月10日時点で開花が始まっている小麦圃場が確認されています。
- (3)主要品種の「あやひかり」の開花期予測は11月10日播種で4月15日、11月20日播種で4月18日、11月30日播種で4月22日となっています(表1)。
- (4)4月13日から15日に3日連続で降雨日があり、ムギ類赤かび病菌感染に適した条件が発生しました。(表2)。
- (5)4月20日以降の1週間は感染好適日が数日予想されています。
- (6)1か月予報(4月17日、名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の気温は高く、天気は数日の周期で変わる予報です。そのため、今後も感染に好適な条件が続く恐れがあります。

7 今後の対策

- (1)1回目の防除適期は開花始め～開花盛期です。1回のみ防除よりも2回防除を実施した方がかび毒濃度低減に有効です(参考:「[麦類のかび毒汚染予防・低減指針:農林水産省\(maff.go.jp\)](https://maff.go.jp/)」)。必ず、1回目の防除後、7日から10日後に2回目の防除を行ってください。
- (2)薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤は連用せず、RACコードの異なる薬剤でローテーション散布をしてください。
- (3)薬剤は農薬情報検索システムで調べることができます。
農薬情報検索システム:<https://pesticide.maff.go.jp/>

8 かび毒について

赤かび病の病原菌は、かび毒を産生させることがあります。かび毒であるデオキシニバレノールの基準値を超えた麦は食用として流通することができません。

詳細は、農林水産省ホームページ「[麦類のかび毒汚染予防・低減指針：農林水産省 \(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp)」(令和5年3月14日公表)を参照ください。

表1 生育予測システムによる開花期予測(三重県農業研究所)

品種	メッシュ データ地点	播種日		
		11月10日	11月20日	11月30日
あやひかり	松阪	4月15日	4月18日	4月22日
ニシノカオリ	松阪	4月14日	4月20日	4月23日
タマイズミR	伊賀	4月23日	5月1日	5月7日
さとのそら	松阪	4月17日	4月20日	4月23日
ファイバースノウ	松阪	4月15日	4月18日	4月22日

※ 4月17日時点

松阪は三重県農業研究所(松阪市嬉野)、伊賀は農業研究所伊賀農業研究室(伊賀市森寺)でのデータ

表2 ムギ類赤かび病感染好適日(アメダスデータによる)

●:降雨があり、最高気温が20℃以上の日(感染リスク大)

▲:降雨があり、最高気温が20℃未満の日(感染リスクあり)

	津	上野
4月5日		
4月6日	▲	▲
4月7日		
4月8日		
4月9日		
4月10日	▲	●
4月11日		●
4月12日		
4月13日	▲	▲
4月14日	●	●
4月15日	▲	▲
4月16日		



図1 赤かび病発病穂

問い合わせ先 三重県病害虫防除所 電話:0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください